

大阪サテライトキャンパス 上智大学公開講座

ソフィア・コミュニティ・カレッジ
2017 春期講座



古代ローマ史と中世宗教史（全2回）

講師：豊田 浩志（元上智大学文学部史学科教授）

日時：2017年6月17日（土）第1回：13：00～14：30 第2回：15：00～16：30

受講料：5,400円（各回2,700円）

第1回：バチカン市国の地下遺跡：使徒聖ペトロの殉教と墳墓をめぐって

第2回：4世紀：コンスタンティノープル：もう一つのコンスタンティヌス巨像

遠藤周作『沈黙』が描ききらなかったキリシタンの史実（全2回）

講師：川村 信三（上智大学文学部史学科教授）

日時：2017年7月1日（土）第1回：13：00～14：30 第2回：15：00～16：30

受講料：5,400円（各回2,700円）

第1回：『沈黙』の史実（ノンフィクション）と小説（フィクション）の識別（筆者の視点）

第2回：日本人は何を信じ守ろうとしたのか。そして何を棄てたのか（民衆の視点）

こころとからだのケア学Ⅱ（全4回）

コーディネーター：鎌田 東二（上智大学グリーンケア研究所特任教授）

日時：2017年6月12日（月）・6月19日（月）・6月26日（月）・7月3日（月）
全日：13：00～16：15

受講料：21,600円（連続講座のため一括申込のみ受付）

司会：鎌田 東二 実修：萩原 邦枝

第1回：講義：鎌田東二 「からだに聴く、こころに訊く」 「峨眉養生気功実修①」

第2回：講義：林 紀行 「マインドフルネスと精神医学の接点」 「峨眉養生気功実修②」

第3回：講義：井上ウィマラ 「スピリチュアルケアとヴィパサナ瞑想」 「峨眉養生気功実修③」

第4回：講義：永澤 哲 「密教瞑想から見たこころとからだ」 「峨眉養生気功実修④」

古代ローマ史と中世宗教史（全2回）

講師：豊田 浩志（元上智大学文学部史学科教授）

日時：2017年6月17日（土）第1回：13：00～14：30 第2回：15：00～16：30 受講料：5,400円（各回2,700円）

第1回「バチカン市国の地下遺跡：使徒聖ペトロの殉教と墳墓をめぐる」

バチカン市国の城壁内には古代ローマ時代の遺跡が眠っています。そもそもその立地は、聖ペトロの殉教地で彼の墳墓があり、その上にコンスタンティヌス大帝はサン・ピエトロ大聖堂を建設した、という伝承に基づいていましたが、それが前世紀に事実として考古学的に立証されました。

今回は、1700年間封印されていた異教墓地と聖ペトロの祠（トロパイオン）の紹介を中心に、長い間疑問視されてきた初期キリスト教秘史の一コマをご紹介します。

第2回「4世紀：コンスタンティノープル：もう一つのコンスタンティヌス巨像」

私は近著『モノとヒト』の中で、315年段階での帝都ローマにおけるコンスタンティヌス大帝の宗教的プロパガンダの中心が「不敗太陽神」Sol Invictusだったことを、都市景観史的視点から主張しました。

教科書的には、その後大帝はキリスト教に帰依し「最初のキリスト教皇帝」とされていますが、330年創建の新都コンスタンティノープル建設においても、彼の宗教信条は依然として異教的太陽神（ギリシア語でヘリオス神）だったことを、景観史的観点から考古学的遺物に注目して立証することで、安直なキリスト教的プロパガンダを排し、彼の赤裸々な実像に迫ろうと思います。

遠藤周作『沈黙』が描ききらなかったキリシタンの史実（全2回）

講師：川村 信三（上智大学文学部史学科教授）

日時：2017年7月1日（土）第1回：13：00～14：30 第2回：15：00～16：30 受講料：5,400円（各回2,700円）

第1回「『沈黙』の史実（ノンフィクション）と小説（フィクション）の識別（筆者の視点）」

16世紀から17世紀にかけて、日本史の一つの現象として生じた「キリシタン史」の意味を、『沈黙』に関連づけて世界史や日本史全体との関連で考察します。遠藤周作の沈黙で描かれたことと「史実」との違いを中心にすえながら、なぜキリシタンは迫害されなければならなかったのかを説明します。同時に、日本思想とキリスト教思想の決定的な対立軸を、日本の宗教思想の最も日本的といわれた「本覚思想」との関連から考察します。

第2回「日本人は何を信じ守ろうとしたのか。何を棄てたのか（民衆の視点）」

江戸幕府の禁教令が出されての後、約20年間で、日本のキリスト教の根は絶たれたと遠藤は描写しました。もちろんそれは事実の一面ではありますが、一方で、250年という禁教時代に、キリスト教の伝統はある部分で生き残っていました。「七代したらキリスト教信仰を自由に公言できる日がくる」と長崎、外海、五島の「隠れキリシタン」たちは希望を繋ぎました。

その根本にあるのが、バスチヤンの予言と「こんちりさんのりやく」というオラショでした。『沈黙』に描かれていないこの史実が、実際のところ、絶望的に終焉するはずの「キリシタン」の歴史を、希望の歴史へと変容しています。その点を、神学と歴史の考察から紐解きます。

※受講者は、前もって『沈黙』の原作を読むか、映画『沈黙』（2017年）を観ていることが望ましい

こころとからだのケア学Ⅱ（全4回）

コーディネーター：鎌田 東二（上智大学グリーンケア研究所特任教授）

日時：2017年6月12日（月）・6月19日（月）・6月26日（月）・7月3日（月） 全日 13：00～16：15

受講料：21,600円（こちらは連続講座の为一括でのお申込みに限ります）

【講師】 鎌田 東二 上智大学グリーンケア研究所特任教授

林 紀行 ほうせんか病院 心療内科・緩和ケア病棟専任医師 専攻分野／精神科医・統合医療

井上 ウィマラ 高野山大学教授 専攻分野／スピリチュアルケア

永澤 哲 京都文教大学准教授 専攻分野／宗教学・密教瞑想

萩原 邦枝 一般社団法人峨眉養生文化研修院理事 実修担当

第1回：講義：鎌田東二 「からだに聴く、こころに訊く」 実修：萩原 邦枝「峨眉養生気功実修①」

第2回：講義：林 紀行 「マインドフルネスと精神医学の接点」 実修：萩原 邦枝「峨眉養生気功実修②」

第3回：講義：井上ウィマラ「スピリチュアルケアとヴィパサナ瞑想」 実修：萩原 邦枝「峨眉養生気功実修③」

第4回：講義：永澤 哲 「密教瞑想から見たこころとからだ」 実修：萩原 邦枝「峨眉養生気功実修④」

ストレス社会の現代にあっては、こころとからだのバランスを保つことがたいへん難しくなっています。が、本来、自分自身が潜在的に持っている力を最大に発揮し、心身ともに健やかな生活を目指し実現していく手がかりとして、2016年度秋期に開催した「こころとからだのケア学」の続編として、さらに深く、じっくりと講義と実修を行なっていきます。

初めての方でも十分理解し、入っていける工夫をしながら、自分のからだどころをみつめ、自分自身の生き方やあり方を深いところから総点検し、講座講師一丸となって、希望と活力を持って進んでいけるような講座にしていきたいと思えます。ご参加をお待ちしています。

各講座事前申込制です。当日会場での現金による申込、受講料お支払いはできませんのでご注意ください。

開場・受付時間は講座開始の30分前となります。それ以前は入室できませんのでご注意ください。